一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は23人の議員が質問に立ち、37項目について市長らの対応を質しました。掲載内容は、その要約です。※発言順に掲載

1 西野正人（自由民主党）

日野市における記念日・祝日の取り組みについて

問　ブルーベリーの日やトマトの日がある。そのような記念日を市政や産業育成に生かせないか。

答　社会資源や特産物を記念日に結び付け、産業・観光振興に生かします。

問　北方領土の日や竹島の日があるが、領土に関する教育について問う。

答　学習指導要領に基づき、我が国の正当な立場を理解するように指導をしています。

問　国民の祝日に、市民が国旗を掲揚するような取り組みが出来ないか。

答　掲揚は市民の意思に委ねますが、祝日となった意義をPRします。

問　入学式や卒業式に、市歌の斉唱を取り入れることは出来ないか。

答　誇れる郷土を象徴する歌詞を受け継ぐ必要がありますが、どの場面で歌うかは今後議論します。

2 奥住匡人（自由民主党）

次世代につなぐ日野の未来は、伝統・歴史・文化そして農業の継承から

問　日野市の伝統行事の現状、農業を通じた次世代への継承手段や支援策について問う。

答　担い手の高齢化、材料・場所の確保などの課題がありますが、行事や地域交流を通して継承されています。また、地元野菜の供給や農業体験から、食育や慣習・食文化を学ぶ取り組みを行っています。国に対し、都市農業振興基本計画の速やかな策定を要望し、営農支援の拡充や生産量の拡大・安定化など都市農業の継承・発展に努めます。

問　まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の進捗状況について問う。

答　歴史、文化の活用、観光施策など地域資源を多面的に捉えて検討を進め、年度内の策定を考えています。

3 吉岡奈津恵（無会派）

LGBT～性の多様性を認め合い、違いを豊かさにかえる日野市に～性同一性障がいの子ども達に安全・安心な居場所づくりを！

問　性同一性障害の子どもの置かれている状況、環境整備について問う。

答　保育では、性差で区別せずに個々を主体にした活動を行うよう配慮しています。また、学校では、一人ひとりの自己肯定感や自己有用感を高めていくことが大切と考え、適切な指導を組織的に行っています。

問　LGBT相談事業の実施や相談窓口の設置について問う。

答　発達・教育支援センター「エール」での子どもこころの電話相談などで対応するほか、女性相談でLGBT相談に対応することについては、スキル習得が必要なので、今後に向け検討します。

4 窪田知子（公明党）

一億総活躍社会・日野をめざして！

問　市役所男性職員の育児や、介護の休業取得について問う。

答　取得率を上げるために啓発が必要と考えますが、無給になることもあり個々の判断が必要となります。

問　障害者の農業への参画について市の見解は。

答　農業者・障害者が、お互いに理解するためのテーブルを作ることを考えます。

インクルーシブ教育とチーム教育について

問　今後の取り組みについて問う。

答　特別支援学級と通常学級の交流と共同学習について、その優れた実績を特別支援学級設置校長会などの場で共有し、市全体の取り組みのさらなる充実につなげたいと考えます。

5 有賀精一（無会派）

電力自由化に日野市はどう対応するのか

水と緑の文化都市の実践を問う

問　小水力発電の現状は。

答　今年度の調査結果から課題を明らかにします。

墨塗り封筒問題について問う

問　ミスで終わる問題ではない。再発防止策は。

答　誤った事務処理のないよう、綱紀粛正します。

ごみ処理広域化等を問う（4）　搬入路問題について

問　ずさんな計画では。

答　地元要望に基づくもので、現状の最善策です。

物流センター問題について問う　調整会合意を市はチェックしているか

問　住民と業者との調整会の結果に関する対応は。

答　合意事項をチェックし、順守させていきます。

6 秋山薫（民主市民クラブ）

市職員のやる気向上に向けた取り組みを推進し、生活保護ケースワーカーで発生した不適切事務処理など問題を再発させないために！

問　市の考え方について問う。

答　職員の働く気持ちを揺り動かすような組織を作る努力をします。

地域の課題である防災（火災）・防犯（カメラ設置）の対策推進について

問　火災延焼危険度が比較的高い地域への対策について問う。

答　公園の防災機能を強化する整備や自主防災組織などが円滑に消火活動を実施出来るよう、自治会と意見交換を行います。

問　通学路への防犯カメラ設置状況について問う。

答　平成30年度までに全小学校の通学路に設置します。

7 近澤美樹（日本共産党）

今、子育て世代の「負担増」などもってのほか―保育料値上げについて

問　保育料の値上げは、子育て支援の本気度が問われる問題だ。見解は。

答　施策充実に伴う応能負担です。

あらためて、ごみ処理広域化について問う

問　周辺環境整備のうち、道の駅の案は、どのような議論から起きたのか。

答　クリーンセンター地元対策委員会が提示した要望項目が基となります。

問　一部事務組合発足の前提として、3市のごみ減量市民会議が必要では。

答　設置に向けて、各市で課題を整理しています。

問　住民監査請求の結果について、正しく広報されていないのではないか。

答　事実をゆがめる意図はなく、真摯に受け止める立場を記述しています。

8 古賀壮志（自由民主党）

地域全体で支える医療・介護について

問　在宅医療と介護の連携の推進を問う。

答　多職種間の顔の見える関係づくりと併せて、連携を支援する拠点整備を進めることで、住み慣れた地域でよりよく長く暮らせるよう、さらなる充実を図ります。

問　特別養護老人ホームの施設整備の展望について問う。

答　高齢者人口増により、介護サービス需要の増加が見込まれます。高齢者人口のピークに近づくと思われる2040年に、介護サービスの供給量が確保出来るよう、計画的な施設整備が必要です。

問　平成28年4月から導入される介護予防・日常生活支援総合事業を問う。

答　利用者、介護事業者、新規参入事業者、全ての方が円滑に利用、またはサービス提供出来るよう工夫をする予定です。

9 中野昭人（日本共産党）

市民参加、住民合意のない計画はここでもゆきづまる！―北川原公園（都市計画公園）にごみ収集車の搬入路をつくるなど許されない

問　北川原公園整備の説明会資料にある通過道路の位置付けを問う。

答　園路及びごみ搬入車両通路としての兼用工作物であると説明しました。

問　法的にも道義的にも、公園にごみ収集車両を通す道路を造ることは出来ない。市の見解を問う。

答　公園内に搬入路を設けるのは、地元からの強い要望を反映したものであり、最善の方法として検討しているところです。

問　この困難な事態を市民全体に明らかにし、関係2市にも一緒に考えてもらうべきではないか。

答　都市計画決定や地元要望は重いものです。法令順守の下で都とも協議し、解決策を模索します。

10 梅田俊幸（自由民主党）

市営墓地、市営火葬場について

問　多摩平3丁目、東豊田2丁目に所在する共同墓地の管理状況について問う。

答　共同墓地代表者と取り交わした覚書に基づき、共有部分の清掃やごみ収集は市が行うなど、適切に管理しています。

問　将来的にも火葬場は必要と思うが市の見解は。

答　新しい火葬場を造り、南多摩斎場と並行して運用しなければ、増大する火葬需要に対応出来ないと考えます。

問　今後の計画、建て替え、移転などを問う。

答　都市計画法上、現在地での建て替えや改築が出来ないため、待合室のリニューアルや火葬炉の修繕を行い、現状の機能を維持しながら延命化に努めています。今後は将来の火葬需要を見据えながら、場所や運営方法などを庁内で検討します。

11 中嶋良樹（民主市民クラブ）

まちを救う人財育成について～最強の組織と凡事徹底～

問　主要3戦略での目標実現のために求められていることについて問う。

答　今後直面する困難な社会課題に積極的に取り組み、その効果を上げていくためには、自主性を重んじ、職員自身がその取り組みと仕事に熱意ややりがいを見出せるような、人と能力が生きる生産性の高い組織が必要であると考えます。

問　主要3戦略、また市政運営方針などを正しく理解し、実践するための取り組みについて問う。

答　戦略や計画の実現に向け、組織目標の設定に取り組んだ新人事評価制度や庁議での政策議論などの実施のほか、あらゆる職層・世代の職員が、目標を明確に持って戦略や計画が実行されるよう、手法の改善を重ねながら継続的に進めます。

12 田原茂（公明党）

地域包括ケアシステム等について

問　訪問医療の現状について問う。

答　在宅医療を行っている先生方が自主的に、また、お互いに連携を図りながら市内全域の方を対象に取り組んでいます。

問　市立病院における地域包括ケア病棟の導入について問う。

答　隣接する多摩平の森A街区の医療施設や市内の医療機関の動向を見極めながら検討します。

問　認知症初期集中支援チームの取り組みについて問う。

答　平成29年度中に多摩平の森A街区に整備予定の認知症疾患型医療施設内に設置することを前提に、整備事業者である医療法人との調整を進めています。なお、八王子市の上川病院を運営している当該法人は、29年度に当市へ移転を予定しています。

13 清水登志子（日本共産党）

「国民健康保険は社会保障」の立場を堅持し、値上げ案の撤回を

問　滞納者の実態を問う。

答　滞納者数を減少させる取り組みに努めたことにより、ここ3年間は減少傾向にあります。

問　加入者にとって国保税が重いものになっていると思うが市の見解を問う。

答　医療給付などに係る費用は、総額から国などの補助金を除いた金額を加入者の保険税で賄うのが保険制度の基本と認識しています。また、当市の保険税率は全国的に見ても低率です。

問　保険税の税率改定で低所得者への配慮はあるのか。

答　市・都民税の申告によって所得の把握に努め、軽減世帯を拡充していきます。出来るだけ低所得者に負担が大きくならないよう分配しています。

会議録の閲覧と検索

- 会議録は、2月下旬から、図書館、市政図書室で閲覧出来ます。
- 会議録検索システムは、2月下旬から、市議会のホームページから利用出来ます。

インターネット中継

本会議の様子を市議会のホームページからご覧ください。
- 生中継は本会議当日のみ。
- 録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から。

【注】「会議録検索システム」「インターネット議会中継」は、スマートフォンやタブレット型端末などには、現在配信していません。